

最初に、神奈川県では、平成29年から、「津久井やまゆり園」事件の発生した7月26日を含む週を「ともに生きる社会かながわ推進週間」として定めています。（令和8年度は7月20日（月）～7月26日（日）です。）「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念を心に刻んで、共生社会の実現について考える一週間としてください。

先日、鎌倉の由比ガ浜海岸で、高校生が亡くなる痛ましい事故が発生しています。夏休み中、このような水の事故にはくれぐれも気を付けてください。そしていわゆる「闇バイト」についてですが、バイトといっても単なる犯罪であり、その実態は指示役が生徒たちを使い捨てにするものです。一生を台無しにするような犯罪となりますので、気を付けてください。

1学期を締めくくる球技大会はみなさん楽しかったですか。暑い中、生徒会中心に運営側も選手もよく頑張りました。優勝チームと教員チームのドリームマッチは、体育館中が一つになったような大変な盛り上がりでした。教員と生徒が創りだすあの盛り上がりは、横浜瀬谷高校の本当に良い点だと思います。

さて、皆さんは、自分の進路について、しっかりと自分に向き合って考えていますか。学年によってその切実度は違うと思いますが、〇〇大学の指定校があれば、何学部でもいいとか、経済や法学部など社会系なら何でもとか、工学部系ならなんでもといった漠然としたもののしかないという人も多いのではないのでしょうか。そのために夏休み中にオープンキャンパスに行ってきたさいと指導されたかと思います。

この春もお話ししましたが、4月に本校の希望者に、GREEN×EXP02027の会場を横浜市上瀬谷整備事務所のご厚意で案内してくれました。私も行ったのですが、皆さん熱い言葉で、自分らの仕事にプライドを持って、地図に残る仕事を説明してくれました。本気の大人たちの言葉はとても熱く、重たいもので、参加した生徒たちの心に響いたと思いました。「未来共創」では、外部のそのような出合いを経験してほしいと思います。テレビCMでも社会課題の解決に取り組んでいる企業を見かけます。社会課題の解決をその企業の存在理由（パーパス経営）としています。それに憧れたでもよいのかもしれませんが、「持続可能な社会の創り手」として、これからの社会で活躍できる資質能力の育成が、本校の最大の目標です。このような経験の中で、社会課題の解決を図りたいとか、将来に残る仕事をしてみたい、自分はこうなりたいという未来予想図を発見できたら、自分の心に火がついて、今自分は何をすべきかが見えてくるのではないのでしょうか。本来は、そこで逆算して、初めて〇〇大学で、〇〇を研究したいという目標が見つかると思います。

1 学期を振り返ると、よく教室を見て回るのですが、皆さんの授業の様子は、どの学年も大変頑張っているなと思います。3 年生は、2 年生末までに、英検 2 級を全員とろうと目標を立てて、力を合わせて努力してきました。その結果、現在、2 級は、90 名弱の生徒たちが、そして準 1 級も数名の生徒がすでに取得しています。同じ時点では、開校以来一番多い数です。みんなが挑戦して頑張っていけば、おのずと自分も負けられず、努力するものなのです。大切なのは雰囲気です。3 年のある英語科の先生が、「生徒たちが本当に伸びるものだとわかりました。」と話してくれました。1・2 年生は、3 年生を更に超えられるよう頑張ってください。先日行われた英語スピーチコンテストも大変すばらしいものでした。スピーチする生徒はもちろんですが、体育館全体がとても良い雰囲気に包まれていました。英語科の先生方が、「0 から 1 を創ってくれました。」素晴らしかったです。

未来共創の中間発表会も先日見ましたが、とても頑張っていると思いました。少し見ただけですが、中には企業や横浜市などと連携したら、更に良い探究になるだろうと思うものもありました。是非全国規模の探究のコンテストに応募してください。7 月〆切のものなら、3 年生も、間に合うのではないのでしょうか。

「未来共創ラボ」は、GREEN×EXP02027 の農水省の未来咲きガーデンに応募、プレゼンして、全国から 5 校に選出されたために、首相官邸へ表敬訪問に行き、首相からもお褒めの言葉をいただきました。GREEN×EXP0 期間中、日本政府苑の一面に、食べられるハーブガーデンを出展すると聞いています。

優秀な成績を残した部活は、このあと表彰されると思いますが、たまたま学校に来る仕事があり、応援させてもらった男子バスケットボール部とある私学との試合は、とても印象に残るものとなりました。リードしていた最後数分に、じん帯をけがしてしまい、走れない 3 年生が、コートに送り出されました。「全員で得点するぞ」とばかりにチームのみんなが彼にパスを回し、コートの端からスリーポイントシュートを狙うのですが、なかなか入らず、やっと入ったのは終了のブザーが鳴る瞬間、つまりブザービーターとなりました。周りの親御さんとハイタッチで喜び、自分も、自然と涙が出ていました。3 年間つらい練習を頑張ってきた者にしか味わえない最高の瞬間だと思いました。

きっとこれはほんの一例に過ぎません。授業、未来共創、行事そして部活にみんなが頑張っています。成長しています。この夏も大きく成長して、2 学期にお会いしましょう。